

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	心身障害者医療費給付事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-18	担当者 尾崎由実
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者（児）福祉		
	施策	生活環境の整備		

事業について	
目的	重度心身障害者（児）に対し、必要とする医療が容易に受けられるようにするため、その医療費を補助することにより、心身障害者の健康保持と福祉増進を図る。
対象（誰のために）	市内の身体障害者手帳1・2級所持者、療育手帳A所持者、身体障害者手帳3級を所持し、かつ、療育手帳B（中度）を所持する合併障害者
内容	医療保険各法の規定により被保険者が負担することとなる額を公費負担する。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
医療費給付件数	19,819 件		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	114,201	国庫補助金等	66,104	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,305	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	116,506	一般財源等	50,402	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.30	人
結果指標名	医療費給付件数	
結果指標量	19,819	
単位	件	
対前年比	—	
事業費	116,506,000	円
単当たりコスト①	5,879	円

結果指標名	医療費給付件数	
結果指標量	19,819	
単位	件	
対前年比	—	
事業費		円
単当たりコスト②		円

事業の成果	17年度	
成果指標名	医療費給付件数	式又は説明
成果指標量	19,819	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	19,819	到達目標年度 毎年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	医療費が年々増加傾向にあるなか、必要な医療が無料で受けられることで受給者にとっては二重の負担である。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	医療機関、保健所及び保健福祉課との連携により、受給者の手続き上の負担軽減と国の老人保健の適用で負担割合を下げることで、多少でも公費負担を減少させる必要がある。
効率性の評価	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	該当者に対し、適正な給付事務が行われている。
	成果向上の可能性	
市民参画度		

総合評価	コメント	評価区分 <A~E>
	医療を必要とする度合いから医療費を助成する制度の必要性は高い。ただし、18年度から医療費の1割自己負担が検討されている。	B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度結果指標量①	19,819	結果指標量②
目標値	結果指標量 19,819	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	効率性	医療費の1割自己負担	18年度	他の制度との公平化

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。